



# ふれあい

平成27年10月NO7  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 門川町の子どもたち、がんばっています！

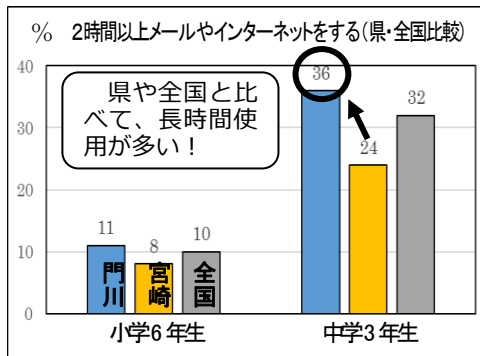
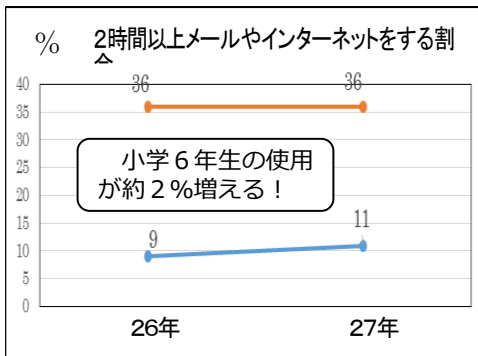


4月に、小学6年生と中学3年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が行われました。今回は、その中から「児童生徒の意識調査」の結果を取り上げます。門川町PTAで取り組んでいる「子どもの成長を支え、育む “かどがわ4か条”」に関連する内容を中心に、門川町の子どもたちのがんばっていること、がんばってほしいことについて考えます。これからの子育てにお役立てください。

## 子どもの成長を支え、育む “かどがわ4か条” に取り組みましょう！

### 1条 家庭でメディアの約束をつくれます！

長時間、メールやインターネットをする傾向がみられます！



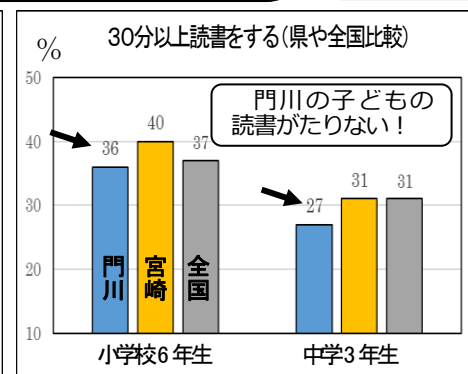
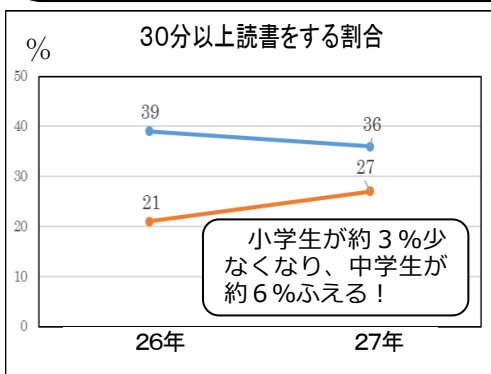
門川町の子どもの使用割合が、県や全国と比べて多くなっています。携帯電話やスマートフォンの長時間使用は、学力低下の大きな原因とされています。使用時間30分以内と2時間以上とでは、約10%の学力差が出ています。

(平成27年度結果)

2時間以上携帯電話やスマートフォンを使う割合は、昨年と比べて、中学3年生は変わりませんが、小学6年生が約2%増えています。もう一度、使用時間についてのわが家のルールを確認してみましょう。

### 2条 読書を家族みんなで楽しみます！

中学3年生で、30分以上読書をする割合が増えています！



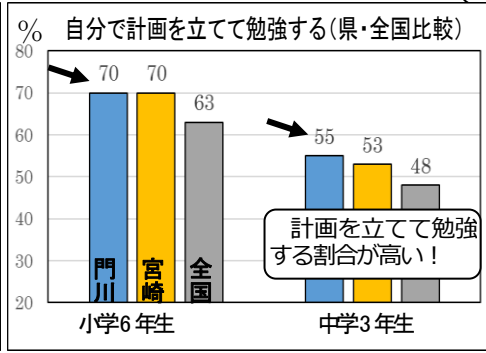
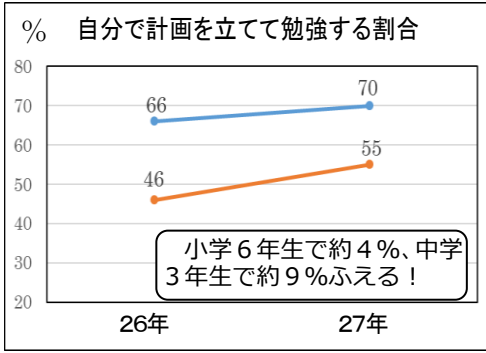
門川町の子どもが「30分以上読書をする割合」は、県や全国よりやや低くなっています。「読書は豊かな心を育てる」といわれていますが、学力とも深くつながっています。30分以上読書をする場合と読書をしなかった場合とでは約9%の学力差が出ています。

(平成27年度結果)

1日に30分以上読書する割合は、昨年に比べて、小学6年生がやや少なくなり、中学3年生がやや増えています。中学3年生に読書をする傾向が見られるようになりました。子どもの読書は、まわりの影響が大きいといわれています。わが家で、読書をする環境をつくりましょう。

### 3条 学習をしている子どもを応援します！

自分で計画を立てて勉強をする割合が高くなりました！

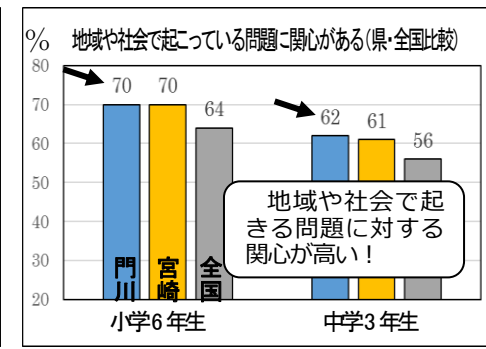
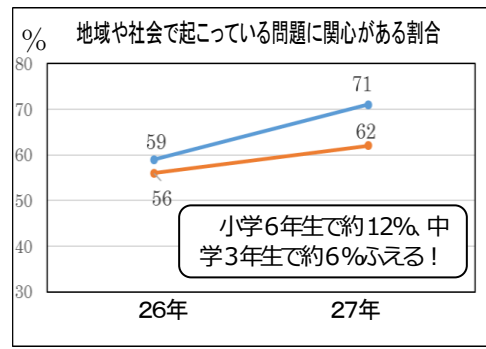


門川町の子ども「自分で計画を立てて勉強する割合」は、県や全国よりやや高くなっています。自分で計画を立てて勉強をする場合とそうでない場合とでは、約15%の学力差が出ています。学力の高い秋田県は、小学6年生の83%、中学3年生の65%が自分で計画を立てて勉強をしていると答えています。  
(平成27年度結果)

自分で計画を立てて勉強する割合は、小学6年生・中学3年生とも、昨年より増えています。特に、中学3年生に進んで勉強しようとする傾向が見られます。子どもの学習意欲を高める「魔法の言葉」は、家の人の激励の一言です。やる気スイッチがONになった子どもは自分から勉強します。

### 4条 我が町の行事に進んで参加させます！

地域や社会で起きている問題に関心をもっています！



門川町の子ども「地域や社会で起きている問題に興味がある割合」は、県や全国より高くなっています。地域行事への参加が少なくても、関心がないわけではありません。子どもの背中をひと押しして、親子で地域の行事に参加しましょう。地域みんなで、子どもを育てましょう。

地域や社会で起きている問題に関心がある割合は、小学6年生・中学3年生とも、昨年より増えています。このような子どもたちの関心を行動に移すためには、家の人の一言が必要です。「ちょっと一緒に行ってみようか」と声をかけて、親子そろって地域の行事に参加しましょう。

#### 教育研究所からのメッセージ



本年度の全国学力・学習状況調査では、門川町の子どもたちの大きな成長を見ることができました。子どもの成長を後押しするのは、親の役割です。子どもの成長を支え、育む“かどがわ4か条”を合言葉に、家庭や地域、学校が一体となって、力を合わせてがんばりましょう。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)  
63-1566

〜〜返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)〜〜